

2018.03.19. 13:00~14:30 場所) 本館講座室  
出席

- 文庫連 : 6人
- 図書館本館整備担当 : 中島課長、笹原主査
- 図書館 : 栗崎館長、米山サービス係長
- コンサル : 寺田、中野

◇本館（中央館）整備予定地についての情報をお知らせして、ご意見、ご希望

- ・小さい子をつれていると雨の日に駅から図書館へ行くのは大変。どうにか利用しやすくしてほしい。無料駐車場などがあるといい。有料駐車場は利用がしにくい。
- ・永山図書館は1時間無料で停めることができる。新本館もそうなるだろうか。
- ・無料無制限で駐車ができると、ずっと停める人や図書館利用者以外が使用する事もでてくる。その結果、図書館の利用者が停められない事も出てくるだろう。無料時間を決めて駐車できるようにすると良い。
- ・聖蹟桜ヶ丘から多摩センターを通る多摩南部地域病院行きというバスがある。そのバスの経路を少し変更できれば、図書館近くにバス停ができる（民間運行なのでどうするか）。もしくはミニバスのルートを近くに寄せられないか。
- ・本館は駅前ではないので、全域からの市民のアクセスへの工夫が更に欲しい。
- ・多摩市ではアシスト付き自転車をよくみかける。坂道も楽にこげるので、遠方からも来るだろう。歩道から車道レベルの歩道づたいにも、来るだろう。
- ・図書館ができれば駐輪場は足りなくなるだろう。パルテノンと図書館どちらも使える駐輪場が欲しい。車道の高さにも必要だが、ペDESTリアンデッキ上の高さに特に欲しい。
- ・クロスガーデンが駐輪無料なので、みんなそこに停めている。
- ・駅周辺の駐輪場では放置自転車が問題になっている。（今は路上放置は少ない）
- ・駐輪場も3時間無料などの工夫ができれば良いだろう。
- ・車道レベルの歩道と、レベルの違う歩道をつなぐ計画地内のスロープが無く、なるので高齢者身障者用のエレベーターが必要とされるかもしれないと、説明。

◇意見伝達

- 図書館への自動車利用は増えると予想。無料時間を決めて、利用券が欲しいという意見。
- 図書館近くにバスルート、バス停留所が欲しいという意見。
- 図書館への自転車利用は増えると予想。無料の駐輪場が欲しいという意見。時間制限なしの無料も問題との意見。

とびらを ひらこう！

**記念  
30**

文庫展  
30回記念

多摩市文庫連絡協議会  
2018年3月

**祝  
45**

多摩市立図書館  
開館45周年

図書館開館15周年  
を記念して  
「第1回文庫展」  
が開催されました


図書館での文庫連催事では、準備、制作、講演の場が必要。

第30回 文庫展・原画展  
はたこうしろうさんの本

はたこうしろうさんプロフィール

1963年、兵庫県生まれ。絵本作家、イラストレーター。  
絵本に  
「ショコラちゃん」シリーズ、  
「あかちゃんとのあそび絵本」シリーズ（講談社）、  
『ゆらゆらばしのうで』（福音館書店）、  
『なつのいちにち』（偕成社）、  
『むしとりにいこうよ』、『みちくさしようよ』（ほるぶ出版）、  
『雪のかえりみち』（岩崎書店）、  
『クーとマーのおぼえるえほん』シリーズ（ポプラ社）、  
『しりとりのだいすきなおうさま』（すずき出版）など多数。  
絵本の他、挿画、ブックデザインも数多く、  
「ちいさながくのとも」（福音館書店）のロゴデザイン、  
シリーズ装丁、  
「こそあどの森シリーズ」（岡田淳著/理論社）シリーズ装丁、  
おーなり由子の本の装丁などブックデザインも手がけている。

『はじめてのオーケストラ』  
佐渡裕 原作 はたこうしろう 絵 小学館



きょうは みーちゃんが まちにまいった日。  
1年生になって はじめてオーケストラの  
コンサートをききにいくのです。  
みーちゃんは ドレスをきて、おかあさんと  
いっしょにでかけました。  
ひろいホール。たかいてんじょう、  
おきやくさんも おおぜいきています。  
いよいよ えんそうのはじまりです。  
この本は 指揮者の佐渡裕さんが文を書き  
はたこうしろうさんが絵をかきました。

多摩市文庫連絡協議会 2018年3月

絵本の原画展や作家講演会、交流会がおこなわれた。

◇本館（中央館）の施設環境や機能について、ご意見、ご希望

- ・子どものゾーンは外から入りやすい位置にほしい。公園の2つのトイレの内1つがなくなるとしたら、子供連れの母親には入りやすい位置に子ども室とトイレが必要。
- ・パルテノン4階に子育て機能ができると聞いた。そこと図書館との役割分担について考えていけると良いだろう。
- ・授乳室や親子トイレは、パルテノンと図書館の両方に必要だろう。
- ・現在図書館では『ほんともフェスタ』を行っている。参加者は本館で30人位。永山では数百人きている。
- ・新聞コーナーには年配の方が陣取り、赤ちゃんの泣き声に怒鳴る人もいる。子どもたちのコーナーには、防音にするなど音の配慮をしてほしい。
- ・中高生が集まることができるコーナーが必要。
- ・開館当初から、魅力的に感じる場所を計画して欲しい。
- ・立川、朝霞、南相馬のティーンズが良かった。
- ・ボランティアの打合をする時に、予約なしで自由に使える場所が欲しい。作品をつくったり、置く場所も欲しい。作品庫など。
- ・公民館などでホールを借りようとすると高い。図書館で作家を呼んで講演会を行ったり、多目的に使用できるスペースが欲しい。
- ・ワークショップなどを行う時に100人入れる部屋が欲しい。部屋に間仕切りをつけて、部屋の大きさを変化できると良い。
- ・どういった人達が使うのか、公民館的な部屋貸し利用にならないように対象団体は整理しておかないといけないうらう。

◇意見伝達

- 図書館の子ども室のトイレのこと。出入り口の近くに欲しい。
- パルテノン4階の子育て機能の役割分担について考える。
- 授乳室と親子トイレのこと。パルテノンと図書館の両方に必要。
- 図書館の子ども室の音のこと。静寂が必要な場所と隔離して欲しい。
- 予約無しで使える活動室を。(フリースペースで対応できるか) ボランティア活動室、作品庫を。
- 廉価で使える多目的な活動室を。
- 100人規模のワークショップ活動室を。(部屋を分割可変できるとよい。)
- 公民館的な部屋貸しとしないで、図書館活動に関わる活動支援の場を。

**第30回文庫展**  
**子どもと本の広場**  
＜本の世界であそぼう＞



・文庫展のご案内  
・文庫展30周年記念 活動の記録  
・2017年度多摩市文庫連絡協議会活動記録  
・多摩市立図書館のご案内

会期：2018年3月10日(土)～14日(水)  
会場：ベルズ永山  
主催：多摩市文庫連絡協議会 後援：多摩市教育委員会

**ようこそ文庫展へ**

21世紀を担う子どもたちに  
「生きる力と希望を、本を通して伝えたい」

ひとりでも多くの子どもたちが、  
一冊でも多くの本を手に取り  
心に残る一冊の本と出会えるように  
私たちは活動を続けます。

「文庫展子どもと本の広場」は多摩市立図書館開館15周年を記念し、第1回を開催しました。今年、第30回を迎えることが出来ました。この30年の間には、子どもたちを取り巻く読書環境も変わってきました。けれども、本を読む子どもたちのキラキラした目には変わりはありません。この輝きを失わないためにも、平和な世界を創るのは大人の責任です。

先日「石井桃子生誕110年記念特別展」に行ったおり、石井桃子さんからのメッセージに感激しました。ここに転載させて頂きます。

**子どもたち！**  
子ども時代を しっかりと しっかりと たのしんでください。  
おとなになってから 老人になってから  
あなたを支えてくれるのは 子ども時代の「あなた」です。

(2001年7月18日杉並区立中央図書館に寄せられた色紙より)

どうぞ ごゆっくり「子どもと本の広場」をお楽しみください。

新しい図書館本館に、活動のひろばは欲しい。

◇地域館や駅前拠点館の子ども開架室の魅力化の方向性について、のご意見

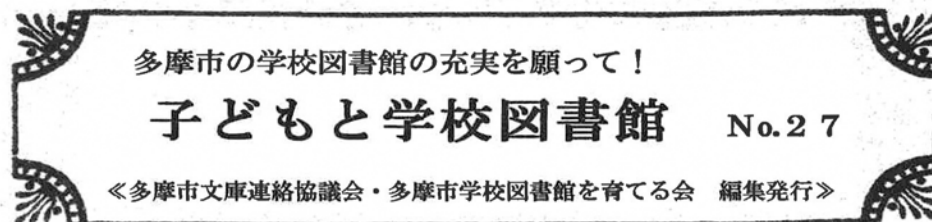
- ・永山図書館は職員の人数が少なく忙しすぎるので、市民提案に対応ができていない。もう少し人を増やしてほしい。駅から近いので利用者も多い。永山図書館にしかない専門的参考資料もあるので、本館にそれを移すことができれば職員に余裕が生まれるだろう。
- ・対面朗読の部屋で専門書を読んでもらう事がある。読む為の発音の勉強など、専門的資料を一部は地域館に残しておいてほしい。
- ・雑誌コーナーにももう少しゆとりが欲しい。

◇意見伝達

- 本館で出来ることが永山を改善する。
- 地域館の朗読奉仕室を残して欲しい。雑誌コーナーにも余裕が欲しい。
- 市民から学校図書館の充実を願い、研究と活動と要望書提出をしている。学校図書館を育てる会の活動。

※（学校図書館との関係について）

学校図書館の資料費があまりにも少ない。そんな中で、学校図書館をどう豊かにしていけるのか。公共図書館の側からどう支援していけるのか。専任のコーディネーター的役割の人が本館に必要なのではないだろうか。もう少し学校図書館へ支援をできるようになればよいと思っている。



2018.3.6

連絡先：鈴木 042-389-6809 青木 042-371-3757

《多摩市小・中学校図書館の充実についての要望書》を教育委員会に提出しました。

1月12日(金)、教育委員会教育指導課指導主事に時間を取っていただき、要望書(p.2~p.3)について説明をしながら改善をお願いしました。その後回答もいただきました。

(p.4~p.5)

一番の要望は図書資料費の増額です。毎年要望していますが一向に増えません。全国学校図書館協議会による2017年度調査報告の全国平均額を大きく下回り、多摩市の今年度1校あたりの図書資料費は、小学校32.5万円(全国平均の約62%)、中学校37.6万円(全国平均の約56%)にすぎません(要望書1参照)。

これでは調べ学習や探求的学習などに必要な幅広い資料を揃えることは困難です。現状に合わないデータの古い資料の買い替えも必要です。図書資料費が少しでも増えるよう切望しています。

また、「会計年度任用職員制度」の問題があります。地方公務員法と地方自治法の一部改正があり、臨時・非常勤職員の任用根拠を精査し厳格化するもので、2020年度からの施行に向けて多摩市でも現在検討中です。学校図書館司書の仕事は専門性があり、経験の蓄積が大事な職種です。「有期雇用」の建前で短期間で学校司書の交替が起こらないよう、今まで積み上げてきた経験の蓄積が、さらに活かせるような制度を考えて欲しいと願っています。

今年度の学校図書館見学は、大松台小学校と諏訪中学校を見学させていただきました。2003年に学校図書館司書が全校配置されて今年度は15年目になりますが、毎年見学する度に図書の授業などのいわゆる読書支援だけでなく、調べ物に対応した他の科目に活かすための資料の用意など、司書教諭や他の教諭と連携しながら司書本来の仕事が充実してきていることがわかります。

今後も益々授業支援が充実し、学校図書館が教育の要の機能を果せるようになることを願っています。(報告はp.6~p.8)

(鈴木久美子)

2018年1月12日

多摩市教育委員会

教育長 清水哲也 様  
教育部長 須田雄次郎様

多摩市文庫連絡協議会

会長 寄神 光代  
Tel/Fax 376-9598  
多摩市学校図書館を育てる会  
代表 鈴木久美子  
Tel/Fax 389-6809

### 多摩市小・中学校図書館の充実についての要望書

日頃は教育行政に御尽力を賜りましてありがとうございます。

2016年10月、文部科学省が設置した「学校図書館の整備充実に関する調査研究協力者会議」の報告が出ましたが、【学校図書館は、近年では、読書活動の推進のために利活用されることに加え、調べ学習や新聞を活用した学習など、各教科等の様々な授業で活用されることにより、学校における言語活動や探究活動の場となり、主体的・対話的で深い学び（「アクティブ・ラーニング」の視点からの学び）を効果的に進めていく役割が一層期待されている。】また、教育委員会等に求められる取組として、【司書教諭や学校司書を対象とした研修を意図的、計画的、継続的に実施するなど、その資質能力の向上を図ることが求められる。】と書かれているように、学校図書館の充実がますます求められています。

本会でも更なる充実発展を願って以下を要望いたします。教育委員会のお考えを、2月16日（金）までに文書で御回答をいただきたく、よろしくお願い申し上げます。

#### 記

#### 1. 資料費の増額と活用

文部科学省の平成28年度「学校図書館の現状に関する調査」結果によると、「学校図書館図書標準」に達していない多摩市の学校は、小学校1校、中学校3校あります。また「全国学校図書館協議会調査部による2017年度図書購入費の全国平均額（※）」と比べてもかなり下回っています。実際、学校図書館を見学すると全体的に古い資料が目につきます。

※【学校図書館図書購入費の全国平均額】 1校あたり 小学校 52.6万円、中学校 67.0万円

- 1) 古い資料の更新と、多様な視点の学習に対応できるよう、少しでも多くの予算措置をお願いします。また今年度の小中学校図書館資料費を教えてください。
- 2) 全校の学校図書館に新聞（小学生新聞・中高生新聞の類）を配備し活用できるように、購読料の確保をお願いします。また今年度新聞を配備している学校数を小中学校別に教えてください。
- 3) 各学校の資料を有効活用するためにも、市立図書館だけでなく学校間の物流システムの構築が必要です。できるだけ早く実現するよう検討をお願いします。

#### 2. 研修の充実

授業での学校図書館利活用を活発に進めていくためには、授業を立案する教師の図書館活用研修が欠かせません。また、教師・司書教諭・学校図書館司書が事前に充分話し合っ準備を進めてこそ、学習成果が上がるものと思います。今年度の司書教諭、学校図書館司書の研修内容と、今後の方針を教えてください。

#### 3. 学校図書館司書の勤務時間延長

学校図書館を活用した授業を支援するためには、学校図書館司書は教師との綿密な打ち合わせや資料準備のための時間が必要です。また、児童生徒の学習や読書を保障するためにも、始業時から下校時まで司書がいて、きちんと対応できることが望まれます。現在の1日5時間という勤務時間では十分な仕事できません。特に大規模校では図書の授業だけで手一杯なのが現状です。とりあえず大規模校だけでも勤務時間拡大などの対応を考えてください。

#### 4. 「会計年度任用職員」制度について

地方公務員法と地方自治法の一部改正により2020年4月から施行される「会計年度任用職員」制度について、多摩市でも検討を進めていることと思います。学校図書館司書もこれに該当します。

学校教育の要である学校図書館の専門家として、今まで積み上げてきた経験の蓄積が、さらに活かせるような制度を考えてください。また現時点での状況を教えてください。

#### 5. 学校図書館の成果PR

多摩市の学校図書館施策の成果や授業活用事例など、学校関係者以外はほとんど知る機会がありません。教育委員会として、広報・展示等で広く市民に向けてPRしてください。

以上

#### ◇意見伝達

→ 市民から学校図書館の充実を願い、研究と活動と要望書提出をしている。学校図書館を育てる会の活動。

→ 新しい図書館本館の、資料と場の提供による支援活動を、基本計画に盛り込んで欲しい。

※多摩市の学校図書館の充実を願って！  
子どもと学校図書館 No. 27  
〈多摩市文庫連絡協議会・  
多摩市学校図書館を育てる会編集発行〉  
より

29多教第1601号  
平成30年 2月13日

多摩市文庫連絡協議会

会長 寄 神 光 代 様

多摩市学校図書館を育てる会

代表 鈴 木 久美子 様

多摩市教育委員会

教育長 清 水 哲 也



多摩市小・中学校図書館の充実についての要望書（回答）

春寒の候、日頃は、教育委員会行政にご協力をいただきまして、ありがとうございます。  
平成30年1月12日付けで提出されました多摩市小・中学校図書館の充実についての要望書に  
関しまして、下記のとおり回答いたします

記

1 資料費の増額と活用について

(1) 市内小・中学校の図書購入費予算について

平成29年度の小中学校の図書費は、学校ごとに配分された予算の範囲内で図書購入費等  
の予算額を学校で次のとおり定めています。

平成29年度予算

小学校…17校	合計	5,519千円	1校あたり約325千円
中学校…9校	合計	3,388千円	1校あたり約376千円

(2) 新聞の配備について

学校における学校図書館に配備する新聞については、学校において購読を決定しています。  
平成28年度実績の購読校は、次のとおりです。

小学校	17校中	1校	連光寺小学校「KODOMO新聞」
中学校	9校中	3校	多摩中学校 日刊紙「東京新聞」 鶴牧中学校 日刊紙「朝日新聞」 落合中学校 日刊紙「朝日新聞」

(3) 各学校資料の学校間の物流システムの構築について

学校交換便は書類を中心とした少量なものを対象としており、多量の学校図書を学校間で  
流通するためには新たな物流システムの構築が必要となります。  
学校資料の使用現状や将来の流通量を勘案しながら検討させていただきます。

2 研修の充実について

多摩市教育委員会では、各校の学校図書館活用に関する情報交換や学習支援に関する取組を学び、  
各校の実践に生かすことを目的とした学校図書館研修を2回（5月、9月）開催しました。

5月は、「本ともフェスタ」で発表した中学校の代表校による実践報告を行いました。小グループ  
による情報交換を通して、実際の準備や生徒への効果、推進上の課題について理解を深めました。ま  
た、多摩市立図書館の事業について紹介し、市立図書館との連携を図りました。

9月は、小学校の代表校による「学校図書館司書と司書教諭の連携した授業等」について実践報告  
を行いました。「主体的・対話的で深い学び」につながる学校図書館の活用について、情報共有及び  
協議をしました。なお、学校図書館司書の研修として、製本に関する専門的な業者を外部講師として  
招聘し、本の修理・製本講習会を行いました。本の修理、製本を通して、「本を大切に使うこと」「本  
に愛着をもって読むこと」を児童・生徒に伝えたいと考えました。

今後は、学習指導要領の改訂に伴い、学校図書館の利活用、情報教育の推進が求められていますの  
で、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた学校図書館を活用した授業実践と学びを支える学  
校図書館の環境づくりについて研修を深めます。

3 学校図書館司書の勤務時間延長について

学校図書館司書の勤務時間につきましては、引き続き1日5時間という形態で週5日、年間の勤務  
日数は、各小・中学校の規模(児童・生徒数)に応じて定めております。学校図書館司書と教師の打ち  
合わせについても、限られた時間の中でも司書教諭等との連携を図られるよう進めてまいります。今  
後も、この形態を継続していきたいと考えております。

4 「会計年度任用職員」制度について

本制度については、多摩市においても検討しているところです。多摩市における制度の方向性が決  
まり次第、学校図書館司書を本制度に適用できるよう進めていく予定です。

5 学校図書館の成果PRについて

教育委員会としては、来年度以降開催される「本ともフェスタ」を中心に、学校図書館の取組や学  
校における授業実践を紹介していきます。また、各学校においても学校図書館で学んだことを、掲示  
やおたより等を通して、保護者、地域への広報を図ってまいります。

◇意見伝達

文庫連と学校図書館を育てる会は、  
学校図書館を育てるための施策について  
教育委員会、教育長から回答を頂いた。

※多摩市の学校図書館の充実を願って！  
子どもと学校図書館 No.27  
(多摩市文庫連絡協議会・  
多摩市学校図書館を育てる会編集発行)  
より

以上